

第5弾目の Hirodai TA 公開セミナー「教育のかたちを考え ICT をつかう!」を開催しました

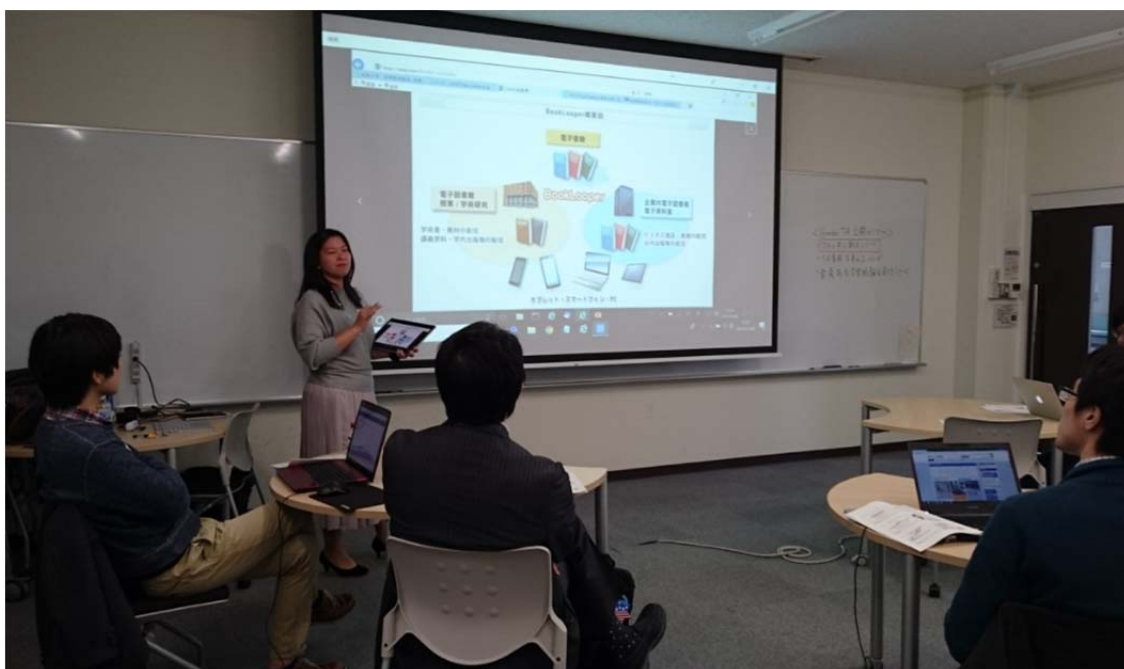
TA サポートデスク

中野 登志美

成蹊大学高等教育開発・支援センター副所長の勝野喜以子教授をお招きして、平成 29 年 12 月 8 日に第 5 弾目となる Hirodai TA 公開セミナーを開催しました。今回の Hirodai TA 公開セミナーのタイトルは「教育のかたちを考え ICT をつかう!」です。第 5 弾目となる公開セミナーは、TA とともに ICT を活用する方法や、授業の目的に合わせて ICT を活用した授業設計ができるようになることを目的に開催しています。セミナーに参加した受講者の 9 名はみな ICT の活用法の関心が高く、楽しみながら積極的にワークショップに取り組んでいたことが印象的でした。

「教育のかたちを考え ICT をつかう!」のセミナーでは、第 1 ～ 3 部で構成されています。第 1 部は講義形式で「授業での ICT 活用の考え方」の講演を行い、その中で「Yammer」・「Forms」・「Stream」などの活用方法を学びました。第 2 部では教員と学生が 2 名ずつのチームを組んで、チームごとに ICT を活用した授業案の作成を一緒に考えました。第 3 部では、チームで考えた ICT を活用した授業案をそれぞれ発表し合うことで、セミナーに参加した受講者全員と実践的な ICT の活用方法を共有することができました。理系や文系によって様々な観点から ICT を活用する方法が発表されて、非常に参考になりました。

ICT をつかうために授業をするのではなく、「ICT を活用して何を学生に教えるのか」が大切であることを理解しました。ICT を活用することだけを重視した授業では、本当の意味で ICT を活用したことにはなりません。ICT は、学生に実用的な知識や技能を習得させることができたり、授業をさらに活性化させることができたり、学生の学力や学習意欲などの向上が期待できたりすることを目指して活用する必要があります。このことはセミナーに参加して自覚できるようになりました。ICT に苦手意識のある人にとってわかりやすい講演内容でしたし、ICT が得意な人にとっては、ICT を活用した授業案のワークショップが好評でした。ぜひ今回とは違った内容でまた ICT を活用したセミナーを開催したいと思います。



セミナーの様子